

<第2議案>

2016年度収支決算（案）

8～9ページの2016年度損益計算書（自2016年1月1日 至2016年12月31日）と貸借対照表（2016年12月31日現在）をもって、2016年度収支決算とする。損益計算書は、「一般会計」と「将来計画資金会計」に区分して示してある。

I 損益計算書

<説明>

2016年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

2016年度の決算は約174万円の赤字となった。赤字の主たる原因としては、ピースデポの財政基盤である会費収入および書籍販売収入（特に後者）、ならびに助成金収入が予算を下回ったことが挙げられる。すなわち予算額と決算額の差額が、会費収入マイナス68万3千円、書籍販売収入マイナス150万5900円、助成金収入マイナス70万円となった。

また、「将来計画資金」は、1名いた協力研究員が年度途中で退任したことから、予算36万円の25%に当たる9万円のみを繰り入れるにとどまった。

上記金額の赤字に、前年度から繰り越された66万円あまりの赤字を合わせると、約240万4千円の累積赤字が発生している。

2. 会費収入について

会費収入は対予算比68万3千円の減収であり、予算額の約89%にとどまった。

3. 事業収入・支出について

「イアブック」2016年版を発行することができなかった結果、見込んでいた書籍販売収入（166万7千円）のうち、達成できたのは約16万円に終わった。支出も「イアブック」を発行しなかったことにより対予算比で80万円近い節減となった。

4. 寄付金収入、助成金収入について

寄付金収入については、全体として目標額の約87%にとどまった。海外派遣寄付金については対予算比で5万7千円が超過達成されたものの、一般寄付金の決算額が予算額を33万2千円、下回った。

一方、助成金収入は目標（予算）の3割の達成にとどまった。

5. 管理費支出について

管理費支出全体としては、予算執行率98.6%と、ほぼ予算どおりの支出となった。

16年6月1日付で厚生年金保険・健康保険の加入事業所となったことに伴い、法定福利費で約38万2千円、福利厚生費で約19万5千円、予算を上回る支出が発生した。その一方で、アルバイト等の雇用をしなかったため「臨時雇い賃金」が発生せず、また「会費」「消耗品費」「機器リース費」といった費目において支出が対予算比でかなり低く抑えられた。

II 貸借対照表

以上の損益計算書を反映させた結果、2016年12月31日現在の正味財産は、約335万5千円（当期正味財産約174万円減）となる。